



立志の丘

第49号
R5. 3. 10
西目中学校
文責：高野

令和4年度西目中学校学校評価結果について

2月17日（金）に「第3回学校運営協議会」が行われました。当日は、授業一巡の後に、今年度の評価領域である「学習指導」と「生徒指導」の取組や調査結果について、3つのグループに分かれて協議し、委員の皆様から次年度へ向けた改善策等を提案していただきました。今年度の取組として成果が上がっているところは継続し、課題については改善を図って参ります。

【評価領域：学習指導】

<p>重点目標</p>	<p>自ら問いをもち、他者との関わりを通して主体的に解決していく生徒の育成</p>
<p>令和4年度 具体的な目標 (5月に提示)</p>	<p>①県学習状況調査の各教科通過率が県平均を上回る。 ②県学習状況調査や立志三訓アンケートなど各種アンケート等で、「ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう勉強したい」の項目について、肯定的な割合が8割以上となる。</p>
<p>年度末の 達成状況</p>	<p>①2年生は全ての教科で県平均を上回ることができたが、1年生は、全ての教科が県平均を下回った。 ・2年生：国語(+2.2) 社会(+8.2) 数学(+15.8) 理科(+5.5) 英語(+0.4) ・1年生：国語(-2.3) 社会(-7.8) 数学(-0.4) 理科(-1.4) 英語(-4.0) ②「ふだんの生活や社会に出た時役立つよう勉強したい」は、県学習状況調査結果では、2年生・1年生ともに9割を超えて県平均を上回った。立志三訓カードの評価では、4段階評価を100点換算にした結果、全校の平均が77.5点となり、8割まであと少しであった。 ・県学習状況調査：2年生:96.3%(+2.5) 1年生:95.7%(+1.0) ・立志三訓評価カード4段階平均：全体77.5点(1年77.5点, 2年75点, 3年75点)</p>
<p>自己評価 (評価) B</p>	<p>・育てたい資質・能力「創造力」の育成に向けて「カリキュラム・マネジメント」を生かして、SDGsやNIEを活用しながら日常生活に活用できる学びの環境をチームでつくってきたが、県学習状況調査結果は、学年によって差が見られた。 ・1年生は全体の底上げを図るとともに、個に応じた指導の充実や全体で正答率の低かった領域の回復指導など早急に対応している。 ・「ふだんの生活に役立つよう勉強したい」という生徒達の願いを授業で実現できるよう、チームで教材研究を一層進めていく。</p>
<p>学校運営協議 会委員評価と 意見 (評価) B</p>	<p>(委員の皆様からいただいたご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生と生徒の信頼関係がしっかりとできている。生徒達が興味をもって学べるような工夫、指導も見られ、生徒自身もしっかりと向き合う姿勢があった。 県学習状況調査の各教科平均通過率は、現2年生は昨年に引き続き5教科全てで県平均を上回ったことは、日頃の学習や指導の成果として自信につなげてほしい。それ以外の学年については、結果に一喜一憂することなく、個に応じた指導の充実を図っていただきたい。子どもたちの資質・能力の育成のために、主体的・対話的で深い学びの視点をもって授業改善を積み重ねていくことが大切であると思います。 どの授業も生徒が真剣に学習に取り組んでいる。また、SDGsやNIEへの取組も評価できる。学習状況については、学年によって集団の質が異なると思われるので、経年比較で評価していただきたい。

<p>学校運営協議 会委員評価と 意見 (評価) B</p>	<ul style="list-style-type: none"> • また、育てたい資質能力「創造力」(R4重点①問題に気付ける力②総合的に考える力)の育成に向けて、通常の授業レベルでも先生も生徒も理解した上で重点的に取り組み、研究の検証にもつなげてほしい。 • 県学習状況調査、総合学力調査の結果、単年だけ見ると1年生が低く、2年生が高いように見えるが、同じ集団が前年度に比べてどのくらい伸びているかが分かる推移(比較)が必要。 • 研究主任が示した研究目標に向けて先生方が一体となっていることで生徒との頑張りが見えました。個に応じた指導もなされています。ICTの活用をもっと図ってほしいです。 • 1年生は県平均を目指して頑張るのみ。劣等感をもつことのないよう指導をお願いしたいと思います。 • 学年で評価は違うので、生徒達はそれぞれ頑張っているのだろうと思います。全体的な結果は結果として、夢や希望をもっている生徒はいるので、学習につながるようになってほしいです。
<p>自己評価及び学 校関係者評価に 基づいた改善策 (学 校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学年によって、また個人によって、調査結果に大きな差が生じないように、より一層個に応じた指導の充実を図るとともに、基礎的な部分で定着が図られていない生徒に対して、習熟度別学習や少人数指導、個別指導等を実施するなど、それぞれの学年で身に付けるべき学力の確実な定着を図る。 • 全体評価の根拠となるデータ分析については、単年度平均数値で結果を評価するだけでなく、学年全体の経年比較や個々人の伸び率にも視点を当てた分析による評価を行い、一人一人に力を付ける授業改善につなげていく。 • 来年度も「カリキュラム・マネジメント」の実践研究を生かして、学校教育目標と育てたい資質・能力である「創造力」の育成を継続して、自ら問題に気づき解決する授業、NSDGsや地域学習、NIEを通して言語能力、社会情勢の理解に基づく課題発見力や情報活用能力、総合的判断力を育てる授業を充実させ、実社会で生きて働く力の向上に努める。 • 今年度、本校の生徒と教師が公開授業を行った全県国語教育研究協議会本荘由利大会(10/28)、全県外国語教育研究協議会本荘由利大会(11/18)、由利本荘市南ブロック授業研究会(11/4)での成果と課題を生かして、来年度以降も「創造力」を身に付け、学ぶ意義を自覚し、学び合いを通して考えを深めて課題解決していく西中生の姿を広く発信していきたい。 • 学ぶ目的や意義を理解し、学び合いを通じて考えを深める授業が日常的に実践できるよう、ICTの効果的な活用を工夫しながら、個の思考整理や考察、判断する力を高める授業づくりに向けた校内研修の一層の充実を図る。

【評価領域：生徒指導】

<p>重点目標</p>	<p>自己有用感をもち、社会のために行動できる生徒の育成</p>
<p>令和3年度 具体的な目標 (5月に提示)</p>	<p>①全国学力・学習状況調査や県学習状況調査、立志三訓カード結果等で、「将来の夢や希望を持っている」、「将来の夢や目標に向かって努力している」生徒の割合が9割を上回る。 ②立志三訓評価カードでA「地域や社会を良くするために何をすべきか考えている」、B「新聞やニュースを通して世の中の動きを自分事としてとらえ、解決方法を考え、行動することができる」生徒の割合が8割を上回る。</p>
<p>年度末の 達成状況</p>	<p>①「将来の夢や目標を持っている」は、全国学力・学習状況調査では、3年生が9割を超え、県学習状況調査では、2年生・1年生ともに9割には満たなかったが、どちらも県平均を上回る結果となった。立志三訓カード「将来の夢や希望に向かって努力している」については、4段階評価を100点換算にした結果、全校の平均が77.5点となり8割に満たなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査：3年生92.8% ・県学習状況調査：2年生:79.6%(+3.9) 1年生：80.4% (+2.7) ・立志三訓評価カード4段階平均：全体77.5点(1年77.5点,2年80点,3年77.5点) <p>②A「地域や社会を良くするために何をすべきか考えている」は4段階評価を100点換算にした結果、全校の平均が70点となり8割に満たなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・立志三訓評価カード4段階平均：全体72.5点(1年75点,2年72.5点,3年70点) <p>③B「新聞やニュースを通して世の中の動きを自分事としてとらえ、解決方法を考え、行動することができる」は、全体の平均が67.5点となり、こちらも8割まで届いていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・立志三訓評価カード4段階平均：全体67.5点(1年67.5点,2年65点,3年70点) </p></p></p>
<p>自己評価 (評価) B</p>	<p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育目標である「夢を力に～立志三訓 希望・友情・鍛練」について、すべての活動で意識化を図り、コミュニティ・スクールの機能を生かしたふろさと教育、キャリア教育を、SDGsに関連付けながら、全職員で進めてきた一年間であった。 ・社会に目を向けて物事をとらえる力をもっと鍛えたい。夢を実現するための進路指導のさらなる充実が必要である。
<p>学校運営協議 会委員評価 と意見 (評価) A</p>	<p>(委員の皆様からいただいたご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標が明確に示され、生徒・保護者・教員が共有した中で、年間を通して様々な活動が実践されている。NSDGs等メディアを活用した積極的な情報発信や、あいさつチャレンジデーの参加など、地域全体が西目中学校の教育活動を理解し、応援していただける状況をつくり上げている。西目海岸環境講座や少年式及び講演会、自衛隊音楽隊演奏会なども充実した内容で、まさに目標である自己有用感をもち、社会のために行動できる生徒を育成するための取組が行われており、素晴らしいと思います。 ・将来の夢や希望、目標をもって、それに向かって努力している生徒が9割には満たないが8割いるとのこと。それぞれがしっかりと自分の考えをもっていることを頼もしく感じた。 ・こども園に月1回のあいさつ運動で来園しても、一人一人元気なあいさつをしていただき、とても気持ち良い。学校内でもどの生徒も挨拶が素晴らしい。

<p>学校運営協議会委員評価と意見 (評価) A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会に関心をもつために、何事も自分事として捉えることが大事だと思うが、その方法の1つとして新聞が挙げられるが、新聞を見る習慣がない生徒が多い。タブレット、携帯等で社会の状況の変化を知るなど、時代に合った対応の必要性を感じた。 ・SDGsと関連付けた総合的な学習の時間の取組や生徒会の取組が素晴らしい。「将来の夢や目標を持っている」生徒が3年生で90%を超えており、学年が進むにつれて、将来の夢や目標を明確に持っていると評価できる。3年生での評価を大切にしたい。また「地域社会を良くするために～」「新聞やニュースを通して～」についての自己評価は決して悪くないと思われる。むしろ、これだけ考えて行動していることに感動した。生徒の将来が期待できる。 ・立志三訓は、各教室の正面にも掲げられており、生徒の心にも十分浸透していると思います。立志三訓カードの結果が8割いかなかったということでしたが、生徒・保護者とも自己評価ですので、実際はもっと高いものと考えます。ただ、評価項目の文言が少し分かりにくい(難しい)気がしました。プラスして、簡単な例文などがあればわかりやすいかもしれません。いずれ、立志三訓カードは、生徒・保護者・教師が思いを共通認識でき、コミュニティーツールとして素晴らしいものですので、大事に続けて行ってほしいと感じました。 ・生徒が夢や目標をしっかりと持っている様子が見られた。CSの機能を生かした学校運営がなされていて素晴らしい。 ・不登校対応は難しいと思いますが、多方面の機関を有効に使ってもらいたいと思います。 ・テストの点数と違い評価が難しいと思います。立志三訓評価カードで8割を超えるよう先生方の指導に期待します。 ・コミュニティ・スクールとして地域住民として応援しています。 ・友情や思いやりのある子どもたちがたくさんいることを感じますが、問題があったときに解決に向けてどう行動すればいいのか判断に迷って動けない生徒の姿を見ることがありました。西目の子どもたちはもっともっと輝いてくれると思いますし、中学校生活の3年間で、学力だけでなく社会に出たときにもたくましく生きていける人間性を身に付けて行ってほしいです。
<p>自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策 (学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒が「夢や希望をもっている」だけでなく「その実現に向けて努力している」学校生活を送れるよう、来年度もふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進を図るために、教育課程の中に外部講師による授業を取り入れるカリキュラム・マネジメントを充実させて、社会性を磨き広い視野でものごとを捉え、自分の将来、地域の将来を思い描く機会を設定する。 ・「社会や世界の一員としてよりよい生き方を考える力」を育むために、年度当初に学校教育目標「夢を力に～立志三訓」と、本校で身に付けたい資質・能力「創造力」について生徒と共有する。 ・SDGsを西目中バージョンにしたNSDGsを各教育活動の中に取り入れて、海岸クリーンアップ、あいさつチャレンジデー、委員会活動、募金等の自分たちにも出来る活動を通して、地球人として問題意識をもって持続可能な社会づくりに主体的に参画できる意識を育てる。 ・世の中の情勢に目を向けることが出来るよう、NIE実践校として、授業の中で新聞を活用したり、話題のニュースを教材として活用したりするなど、指導者側の意識改革も含めて「自分事」として考える教育活動を通して「創造力」を高め、生きる力を育む。 ・コミュニティ・スクールの機能を生かして、西目地域住民や西目こども園、西目小学校、西目高等学校、西目地域の関係機関と連携して、郷土を愛し、地域に貢献する西中生を育てる。 ・立志三訓カードの質問項目の文言を精査して分かりやすくする。

地域に学び、地域を元気にする西目中学校を目指します!

